実務経験のある教員による授業科目一覧

人間環境学部　環境科学科

科目コード	科目名	担当教員	配当年次	単位数	実務家経験を活かした授業内容 （シラバスの「授業の展開方法」）
HE040	キャリアデザイン	樋口貴子	1	2	1級キャリアコンサルティング技能士として、昨今の大学生を取り巻く就職環境の変化に応じた大学生に必要なキャリア教育として、全15回の授業を通して、キャリア理論と組織心理学や人的資源管理・経営管理論をベースに、これからの新しい時代に必要とされ得るキャリア形成について、自分の将来の指針やキャリア目標を立てるための「自己理解」「仕事理解」「啓発的経験」に関する個人ワークとグループセッションを織り交ぜて、アクティブラーニング形式で展開する。
HE041	ビジネスコミュニケーション	樋口貴子	3	2	民間企業で採用・人材育成に携わった経験、ならびに1級キャリアコンサルティング技能士として民間企業や地方公共団体での能力開発の実務経験を基に、ビジネスコミュニケーションをケースメソッドで指導する。また、実際のビジネスシーンで活かせる実践的な対人技術スキルやビジネスマナーを習得するため、ペアセッションやグループワークを織り交ぜたアクティブラーニング形式での演習を展開する。また、最終回はプレゼン面接として、採用面接を想定した説得力のある「自己PR」をプレゼンテーション形式で実施する。
HE042	キャリア形成演習	樋口貴子	3	1	民間企業で採用・人材育成に携わった経験、キャリアコンサルティング技能士として民間企業や地方公共団体の採用コンサルティング経験を基に、年々変化する大学生を取り巻く就職環境に即したキャリア開発の実践力をアクティブラーニングで指導します。就職活動の本番をイメージするため、グループディスカッションや模擬面接などの採用試験を想定した実践演習を行います。よって、1泊2日の合宿プログラムでは、リクルートスーツを着用して参加してください。
ES117	水族館展示実習	小林龍二	2	1	社会人講師，AL．本科目においては、現役の水族館館長から講義を受ける（社会人講師）。第一回から第三回においては、教員が適宜、印刷資料を配布するほか、板書によって、授業を展開する講義形式の授業を行う。第四回の授業においては、教員の指示のもと、各受講生は、班単位に分かれて、水槽を立ち上げる作業を行う（AL）。第五回の授業では、水槽の展示に必要となる基礎知識や工夫すると良い点について、板書を行う形にて講義を行う。第六回は、竹島水族館を見学し、受講生は、実際にプロが行う水槽展示を見て、アイデアを集める（AL）。第七回から第八回では、竹島周辺において、竹島水族館スタッフのサポートも受けながら（社会人講師）、受講生自ら生物採取を行う（AL）。第九回・第十回の講義では、第七回・第八回において採取した生物を大学内に持ち帰り、受講生が主体となって、水槽での飼育・展示のための作業を行う（AL）。第十一回においては、教員が冒頭に講義形式にて、説明を行ったあと、各受講生は、その説明を受けて、他者に魅力を「伝える」ための手段として、水槽とともに展示する掲示物を作成する形で行う（AL）。第十二回の授業では、受講生自らが水槽のメンテナンスを実施し（AL）、その後、講義形式にて授業を行う。第十三回の授業では、冒頭に講義形式にて授業を行った後、各受講生は班単位にてグループワークを進める（AL）。第十四回の授業では、各受講生が発表を行う形で実施する（AL）。第十五回の授業は、教員の指示のもと、受講生は、班単位で、水槽の撤収を実施する（AL）。
PS300	教育心理学	坂本真也	1	2	授業の展開として，基本的に講義形式を取る予定であるが，受け身的な形式ではなく，積極的に考える姿勢を尊重し適宜質疑応答を含めディスカッションを取り入れることも視野に入れている。なお，スクールカウンセラーの実務経験を生かし，特に6回，11回～14回の授業において実際の児童生徒が抱える問題を取り上げる。また，問題の背景にある発達的特徴や家庭の影響なども踏まえ，事例（ケース）を示しながら支援の実践的な理解（個人の支援と同時に教師や保護者との連携や地域機関との連携など）を促進できるような展開をしたい。

実務経験のある教員による授業科目一覧

人間環境学部　環境科学科

科目コード	科目名	担当教員	配当年次	単位数	実務家経験を活かした授業内容 （シラバスの「授業の展開方法」）
PS301	発達心理学	丸山宏樹	1	2	本講義では、各回の冒頭に資料を配布し、それに沿って講義を進めていきます。同時にパワーポイントを使用します。各回の講義は、前回の復習、受講生からの意見や質問の紹介とそれに対する教員からの回答、当該回の学習内容から構成されています。毎回の授業の最後には、受講生は講義内容に関する質問を、リアクションペーパーで提出することができます。それに対する教員からのフィードバックは、質問の内容に応じて、配布資料の中で当該の質問と回答を記載することによってクラス全体に対して行われる予定です。また、本講義担当者は、臨床心理士および公認心理師として、小、中学校でのスクールカウンセラー、大学の学生相談室、保健所での心理相談などの実務経験を有しており、その経験に基づいて、発達心理学における理論と実務の橋渡しを意識した学習内容となっています。
PS304	教育・学校心理学Ⅱ（学校心理学）	水野康樹	3	2	本講義では、各回の冒頭に資料を配布し、それに沿って講義を進めていきます。同時にパワーポイントを使用します。各回の講義は、前回の復習、受講生からの意見や質問の紹介とそれに対する教員からの回答、当該回の学習内容から構成されています。毎回の授業の最後には、受講生は講義内容に関する質問を、リアクションペーパーで提出することができます。それに対する教員からのフィードバックは、質問の内容に応じて、配布資料の中で当該の質問と回答を記載することによってクラス全体に対して行われる予定です。また、本講義担当者は、臨床心理士および公認心理師として、小、中学校での常勤スクールカウンセラーの実務を担っており、教員としても教育相談担当、管理職経験者の経験がある。その経験に基づいて、学校心理学における理論と実務の橋渡しを意識した学習内容となっています。また、内容に応じて受講生同士のグループディスカッションを行う可能性もあります。
PS305	教育・学校心理学Ⅰ（教育心理学）	坂本真也	1	2	授業の展開として，基本的に講義形式を取る予定であるが，受け身的な形式ではなく，積極的に考える姿勢を尊重し適宜質疑応答を含めディスカッションを取り入れることも視野に入れている。なお，スクールカウンセラーの実務経験を生かし，特に6回，11回～14回の授業において実際の児童生徒が抱える問題を取り上げる。また，問題の背景にある発達的特徴や家庭の影響なども踏まえ，事例（ケース）を示しながら支援の実践的な理解（個人の支援と同時に教師や保護者との連携や地域機関との連携など）を促進できるような展開をしたい。
PS503	健康・医療心理学	星あづさ	3	2	基本的には教員の講義が中心となるが，各講義に受講生が自分の考えや感想を述べたり，ディスカッションをしたりする時間を設ける。各講義において，担当教員の実務経験（実際の心理臨床現場においての治療経験）を生かす。また，講義の最後に「本日のまとめ」を実施し，質問，意見や感想について求め，返答する。また，それ以降に提出された質問等に関しては，次の講義の最初に「前回の振り返り」として教員から全体へフィードバックする（個別的質問に関しては，その内容を吟味し，その都度対応する）。
PS500	臨床心理学概論	二宮有輝	1	2	教員による講義を中心に行う。教員は臨床心理士として非常勤で児童精神科病院，教育センター，学生相談室に勤務し，常勤でスクールカウンセラーとして学校に勤務した実務経験がある。そのため，授業では教員の実務経験に基づいた具体的なエピソードが活用される場面も多くなる。これにより，受講生は本科目の内容について，より具体的な知識として学ぶことができるであろう。
		合計単位数		18	